

令和4年

第3回教育委員会会議

報告第2号

秋田県教育委員会

報告第2号

議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見についての専決処分報告

議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見について、秋田県教育委員会の事務委任及び臨時代理等に関する規則（昭和31年秋田県教育委員会規則第10号）第4条第1項の規定により専決処分を行ったので、同条第2項の規定に基づき教育委員会に報告し、その承認を求めるものとする。

令和4年3月14日

秋田県教育委員会教育長 安 田 浩 幸

理 由

議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見について、教育委員会を開くいとまがなく専決処分を行ったので、これについて教育委員会に報告し、その承認を求めるものである。

報告第 2 号参考資料

専 決 処 分 書

秋田県教育委員会の事務委任及び臨時代理等に関する規則（昭和 31 年秋田県教育委員会規則第 10 号）第 4 条第 1 項の規定に基づき、議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見について専決処分する。

令和 4 年 3 月 2 日

秋田県教育委員会教育長 安 田 浩 幸

議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見について

令和 4 年 2 月 28 日付け財－283 により次の議案について意見を求められたが、原案のとおり同意する。

- 1 令和 3 年度秋田県一般会計補正予算（第 12 号）（教育委員会に関する事項）

教総—— 3 1 5 8

令和 4 年 3 月 2 日

秋田県知事 佐 竹 敬 久 様

秋田県教育委員会

教育長 安 田 浩 幸

(公印省略)

意見の聴取について (回答)

令和 4 年 2 月 2 8 日付け財－ 2 8 3 で照会のあったことについては、原案
のとおり同意します。

担 当

教育庁総務課

政策企画・広報班 石塚

内線 5 1 1 2

令和4年2月28日

秋田県教育委員会

教育長 安 田 浩 幸 様

秋田県知事 佐 竹 敬 久

意見の聴取について（照会）

令和4年秋田県議会第1回定例会（2月議会）に次の議案を提出する予定ですので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により貴委員会の意見を聴取しますので、3月4日（金）まで回答してください。

- 1 令和3年度秋田県一般会計補正予算（第12号）（教育委員会に関する事項）

担 当：総務部財政課

予算第三班 斉藤（司）

電 話：018-860-1105

一般会計

幼保推進課
(単位：千円)

番 号			科 目 名	事 業 名		予 算 額	財 源 内 訳		備 考
款	項	目					特 定	一 般	
10			教育費			189,880	国 189,880		
	1		教育総務費			189,880	国 189,880		
		4	教育指導費			189,880	国 189,880		
				教育振興費	01 子育て支援等臨時対策基金積立金	189,880	国 189,880		国の補正予算に伴う補正基金の積み増しに要する経費
			合計			189,880	国 189,880		

令和3年度2月補正予算（決算補正）の概要

1 教育委員会関係補正予算の規模

現 計 予 算 額	1, 0 5 5 億 6, 4 4 7 万 3 千円
今 回 補 正 額	1 億 8, 9 8 8 万円
補 正 後 の 予 算 額	1, 0 5 7 億 5, 4 3 5 万 3 千円

2 補正予算の主な内容 (単位:千円)

(1) 幼保推進課

①子育て支援等臨時対策基金積立金 189,880(国189,880)

国の補正予算による子育て支援対策臨時特例交付金（安心こども基金）の交付による基金の積み増し

※補足説明：財源について
 国 国庫支出金 (国庫負担金、国庫補助金、国庫委託金等)

令和4年

第3回教育委員会会議

議案第4号

秋田県教育委員会

議案第四号

文化財保護法施行細則の一部を改正する規則案

文化財保護法施行細則の一部を改正する規則

文化財保護法施行細則（平成十四年秋田県教育委員会規則第十一号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改正後		改正前	
様式第1号 国宝又は重要文化財の公開許可申請書（第2条関係）		様式第1号 国宝又は重要文化財の公開許可申請書（第2条関係）	
略 国宝又は重要文化財の公開許可申請書 略 申請者 住所（法人等にあつては、事務所所在地） 氏名（法人等にあつては、名称及び代表者の氏名） 略 備考 1 次の書類及び図面を添付してください。 略		略 国宝又は重要文化財の公開許可申請書 略 申請者 住所（法人等にあつては、事務所所在地） 氏名（法人等にあつては、名称及び代表者の氏名） 略 備考 1 申請者が氏名を自書する場合は、押印を省略することができます。 2 次の書類及び図面を添付してください。 略	
様式第2号 調査のための発掘に関する届出書（第3条関係）		様式第2号 調査のための発掘に関する届出書（第3条関係）	
調査のための発掘に関する届出書 略		調査のための発掘に関する届出書 略	

住所 (法人等にあつては、事務所所在地)	
届出者	氏名 (法人等にあつては、名称及び代表者の氏名)
略	
備考 略	

様式第 3 号 土木工事等のための発掘の届出書 (第 4 条関係)

土木工事等のための発掘の届出書	
略	略
届出者	住所 (法人等にあつては、事務所所在地)
氏名	(法人等にあつては、名称及び代表者の氏名)
略	
備考 略	

様式第 4 号 土木工事等のための発掘の通知書 (第 5 条関係)

土木工事等のための発掘の通知書	
略	略
通知者	事務所の所在地
名称及び代表者の氏名	_____
略	
備考 略	

住所 (法人等にあつては、事務所所在地)	
届出者	氏名 (法人等にあつては、名称及び代表者の氏名)
略	
備考 略	

様式第 3 号 土木工事等のための発掘の届出書 (第 4 条関係)

土木工事等のための発掘の届出書	
略	略
届出者	住所 (法人等にあつては、事務所所在地)
氏名	(法人等にあつては、名称及び代表者の氏名)
略	
備考 略	

様式第 4 号 土木工事等のための発掘の通知書 (第 5 条関係)

土木工事等のための発掘の通知書	
略	略
通知者	事務所の所在地
名称及び代表者の氏名	_____ (印)
略	
備考 略	

様式第5号 遺跡発見の届出書 (第6条関係)

遺跡発見の届出書		略
略	住所 (法人等にあつては、事務所の所在地)	略
届出者	氏名 (法人等にあつては、称及び代表者の氏名)	略
備考	略	略

様式第5号 遺跡発見の届出書 (第6条関係)

遺跡発見の届出書		略
略	住所 (法人等にあつては、事務所の所在地)	略
届出者	氏名 (法人等にあつては、称及び代表者の氏名)	⑩
備考	略	略

様式第6号 遺跡発見の通知書 (第7条関係)

遺跡発見の通知書		略
略	事務所の所在地	略
通知者	名称及び代表者の氏名	略
備考	略	略

様式第6号 遺跡発見の通知書 (第7条関係)

遺跡発見の通知書		略
略	事務所の所在地	略
通知者	名称及び代表者の氏名	⑩
備考	略	略

附 則

この規則は、令和四年四月一日から施行する。

令和四年三月十四日提出

秋田県教育委員会教育長 安 田 浩 幸

理 由

行政運営の効率化を推進するための押印方式の見直しに伴い、所要の規定の整理を行う必要がある。これが、この規則案を提出する理由で

ある。

文化財保護法施行細則の一部を改正する規則案要綱

1 改正理由

行政運営の効率化を推進するための押印方式の見直しに伴い、所要の規定の整理を行う必要がある。

2 改正内容

押印方式による手続を求める様式等を改めることとする。

3 施行期日等

この規則は、令和4年4月1日から施行することとする。

令和4年

第3回 教育委員会会議

報告事項

- (1) 令和3年度秋田県高等学校学習状況調査結果の概要について

秋田県教育委員会

令和 3 年度

秋田県高等学校学習状況調査

分析と提言

秋田県教育委員会

令和3年度秋田県高等学校学習状況調査 分析と提言

目 次

1 調査の概要について	1
2 学習状況調査について	2
(1) 学習状況調査の結果	2
(2) 学習状況調査の分析	11

令和３年度 学習状況調査について

調査の概要について

(1) 目的

進路志望、学習意欲、学習理解に関する現状等を把握し、その結果を分析することにより、各校における学習指導の改善・充実に資するとともに、授業改善の方向性を定め、高校教育の質の保証を図る。

(2) 対象生徒

高等学校の１年生、２年生

(3) 調査事項

学習状況調査

〔学習意欲、学習方法、学習環境〕

(4) 調査日

令和３年10月18日（月）～令和３年10月29日（金）

(5) 調査学校数・生徒数

① 学校数

県内のすべての県立、市立、私立高校の全日制及び定時制

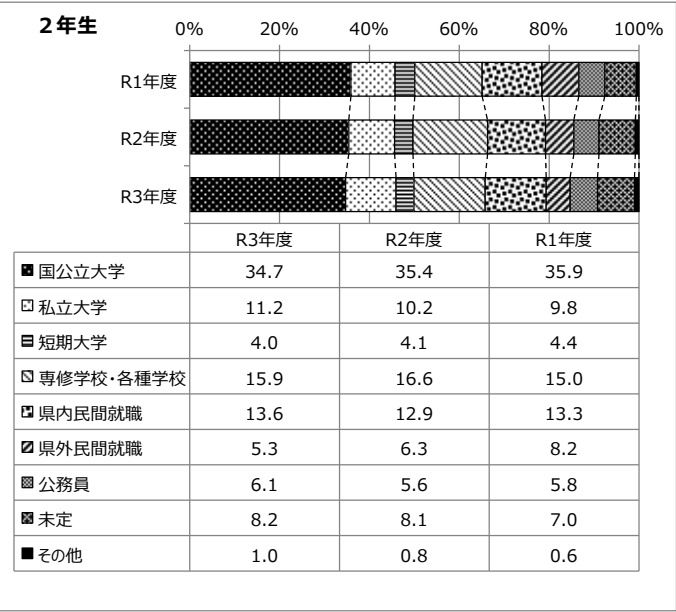
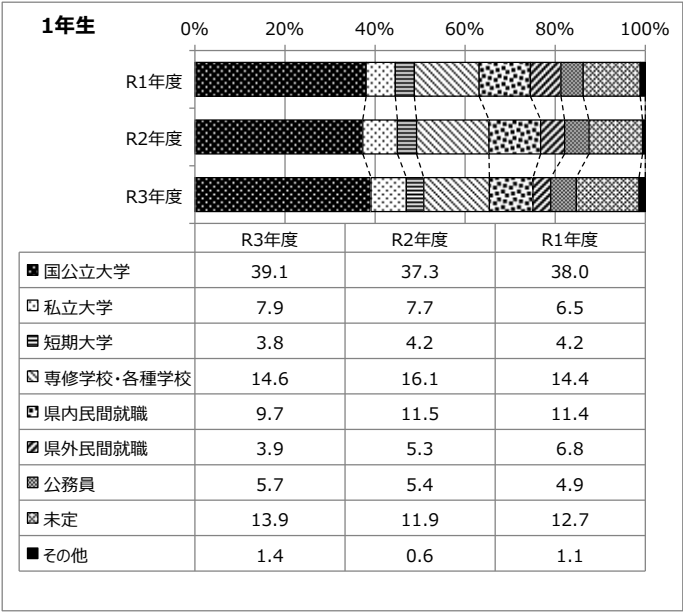
② 生徒数

	１ 年 生	２ 年 生
公立全日制	5,823人 （ 95.3% ）	5,889人 （ 93.2% ）
公立定時制	151人 （ 72.9% ）	139人 （ 75.1% ）
私立全日制	633人 （ 91.6% ）	698人 （ 95.1% ）
合 計	6,607人 （ 94.3% ）	6,726人 （ 92.9% ）

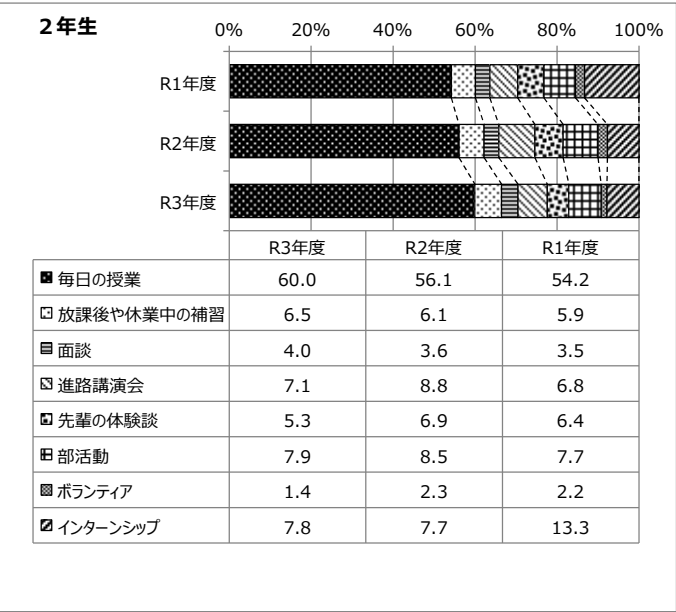
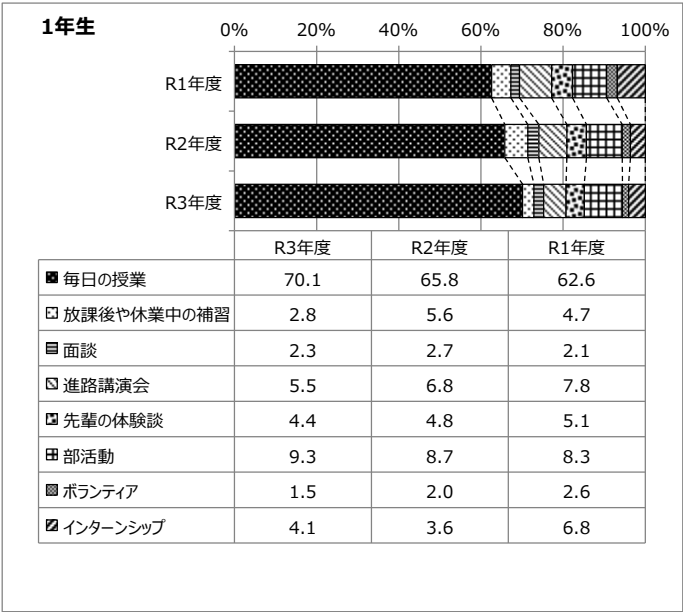
※（ ）内の数値は、在籍する生徒に対する調査を受けた生徒の割合

学習状況調査の結果

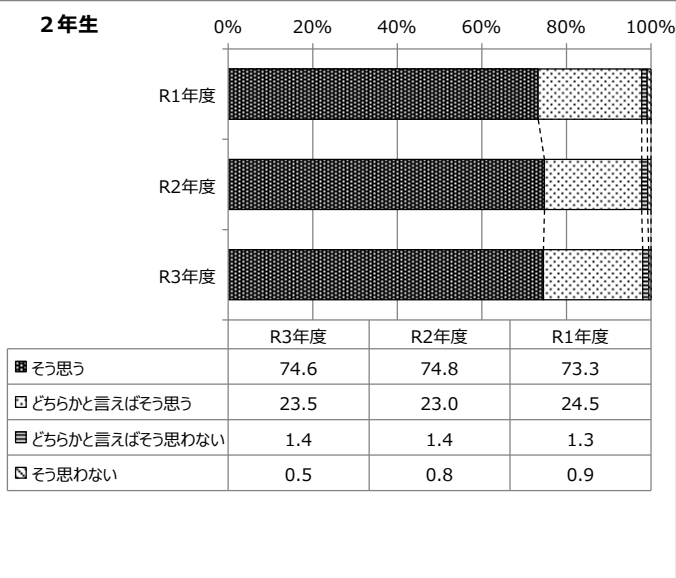
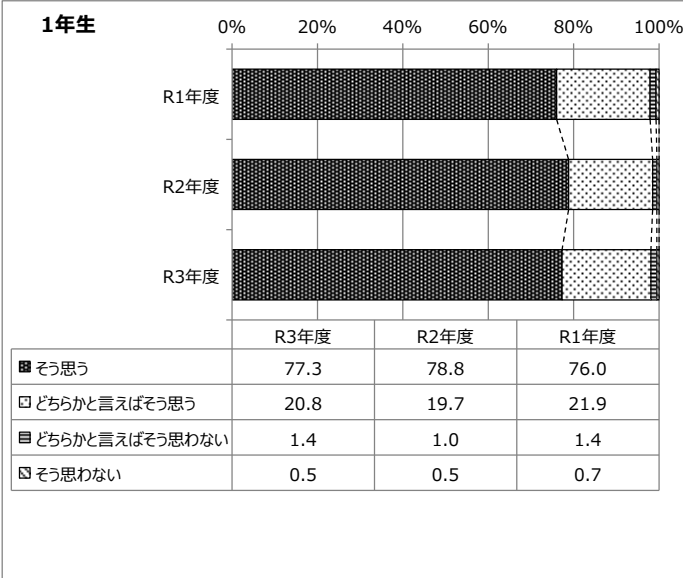
1-1 高校卒業後の進路として、現時点で希望しているのは次のうちどれですか。



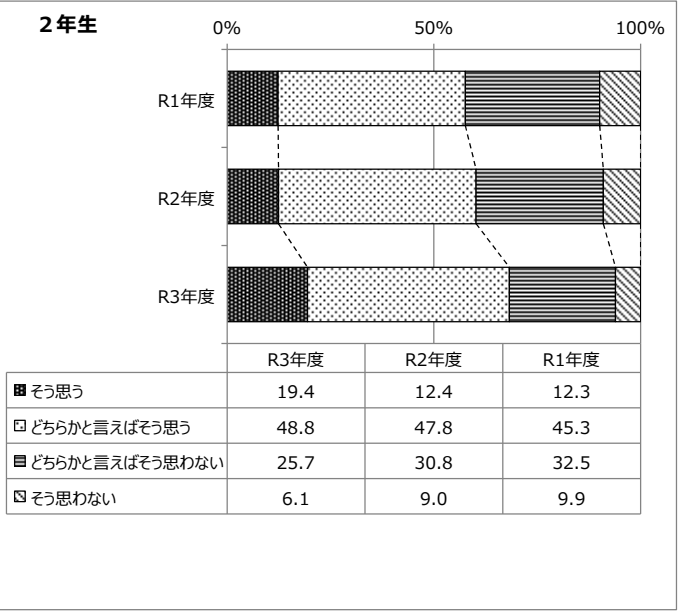
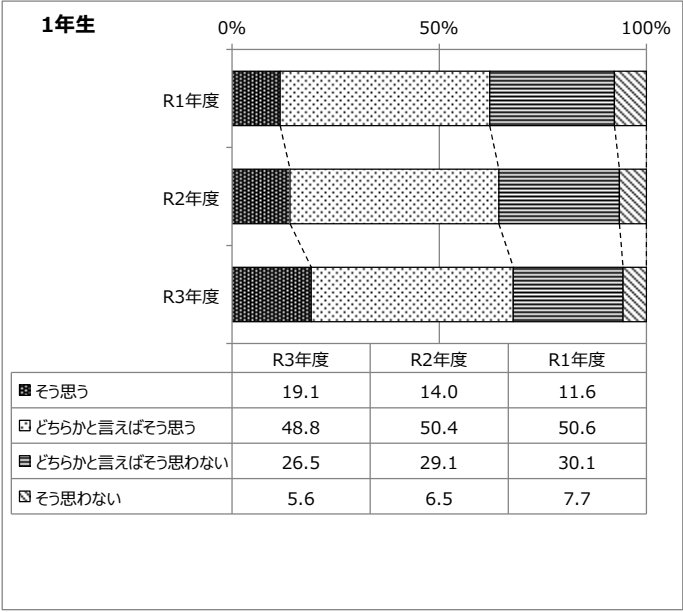
1-2 高校卒業後の進路達成に向けて、現時点で最も役立つと感じているものは次のうちどれですか。



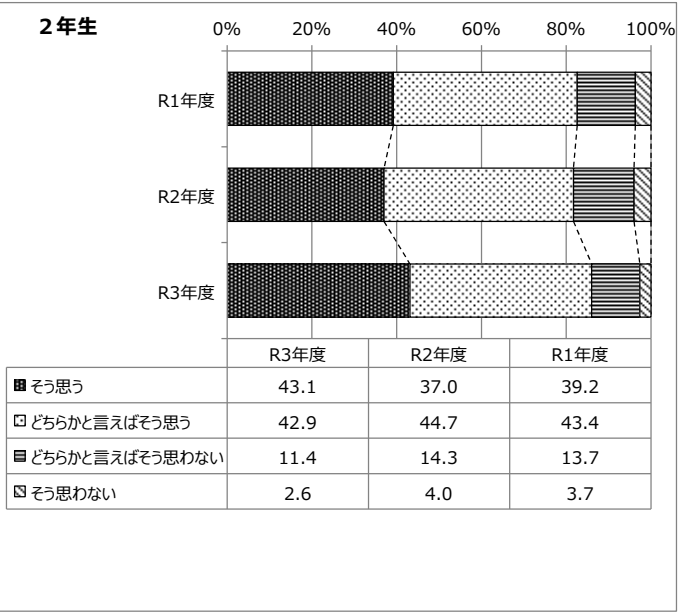
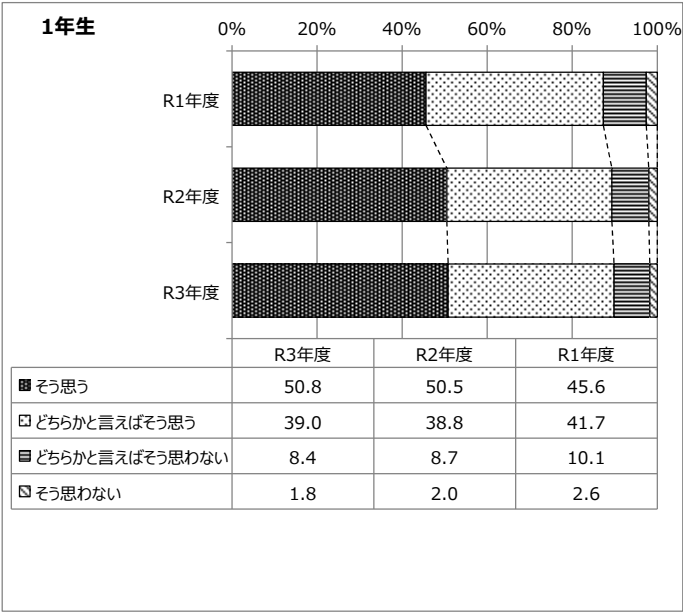
2-1 勉強をすることは大切だと思いますか。



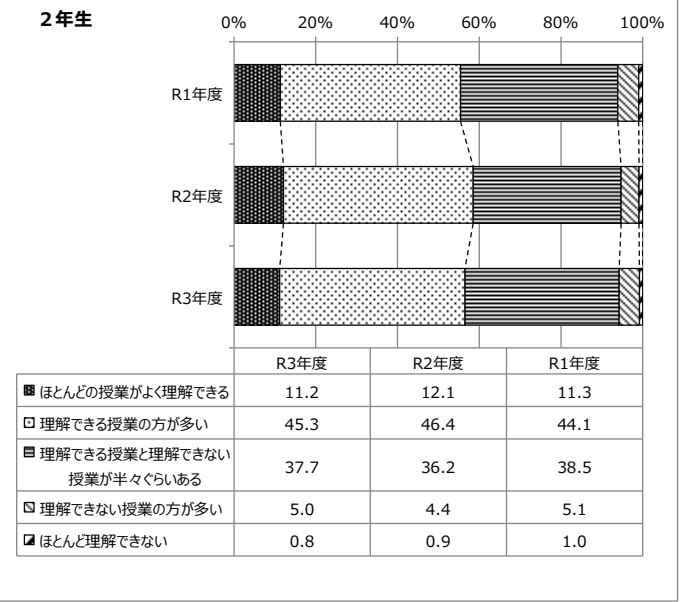
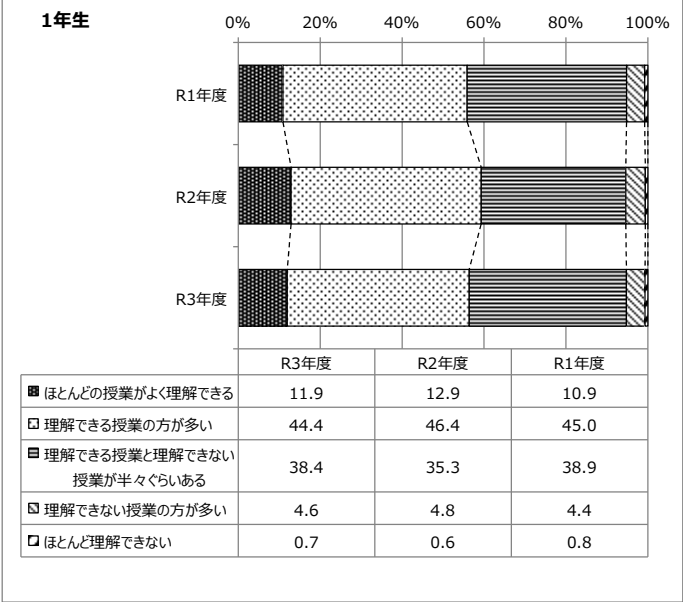
2-2 勉強をすることに対して興味・関心をもって意欲的に取り組んでいると思いますか。



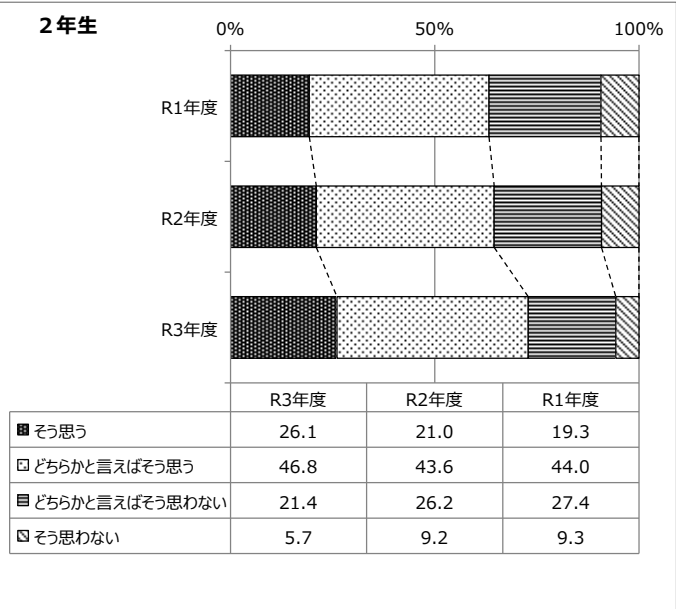
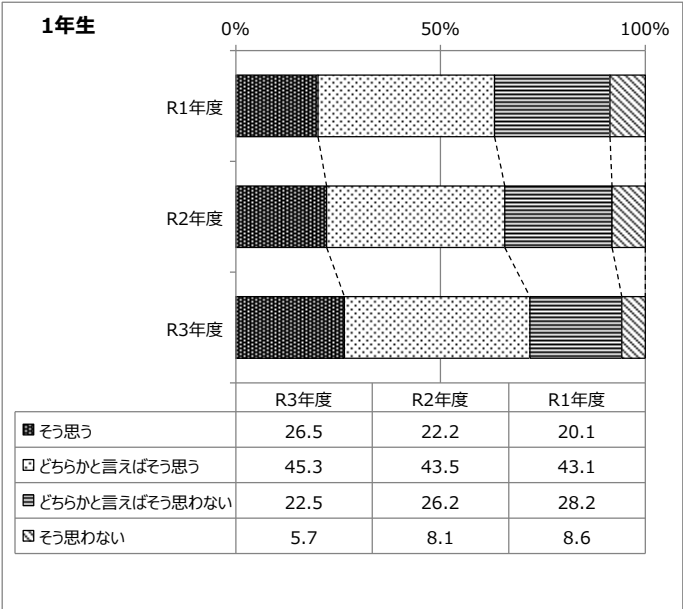
2-3 高校での勉強は、将来社会人になったとき役立つと思いますか。



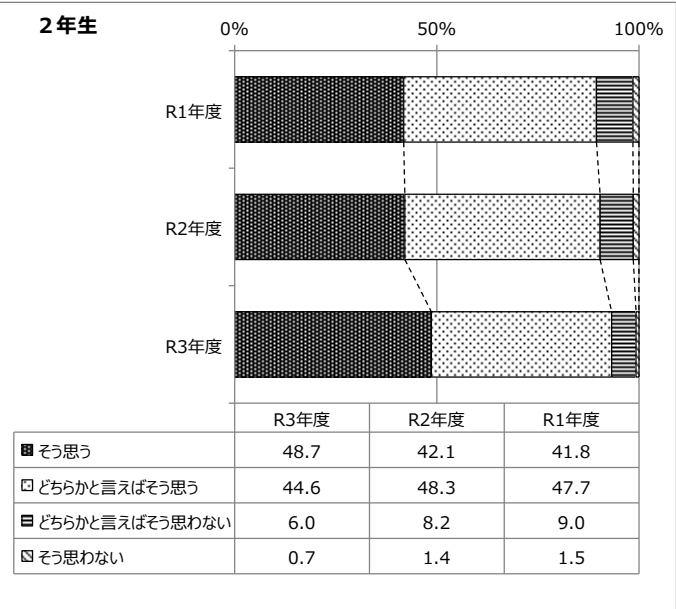
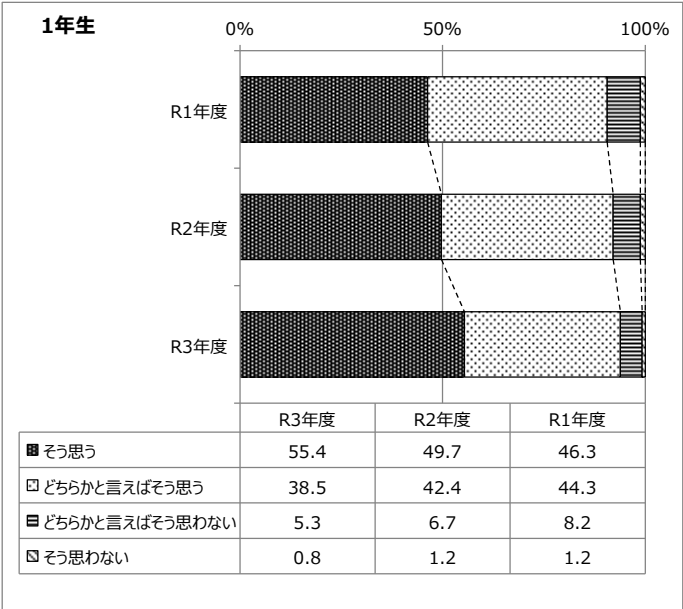
3-1 学校の授業内容をどの程度理解していますか。



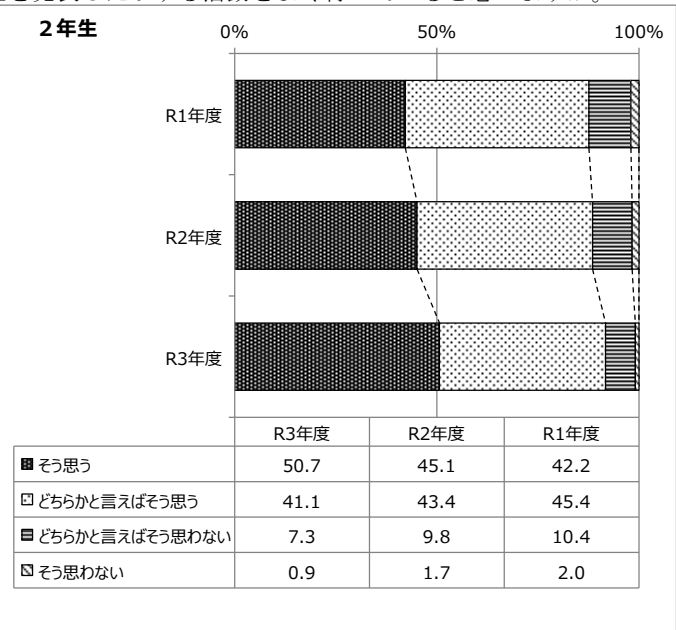
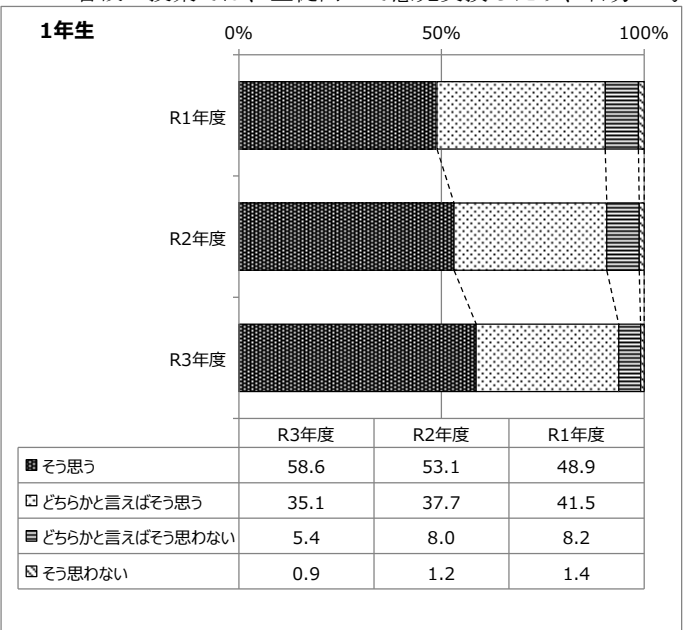
3-2 進学したい大学等や就きたい職業等を意識して授業に臨んでいると思いますか。



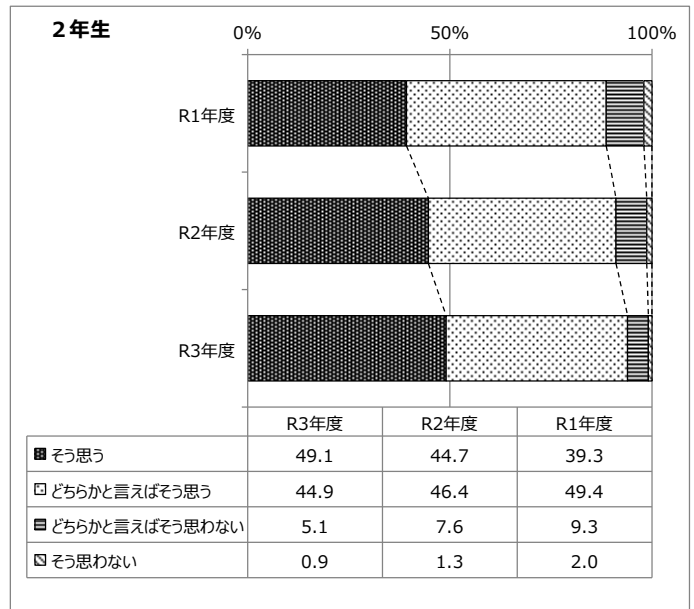
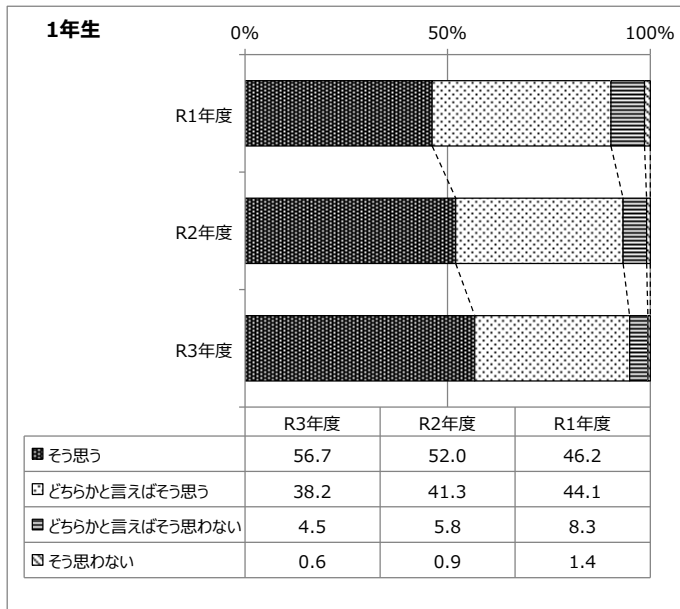
3-3 普段の授業では、生徒に自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。



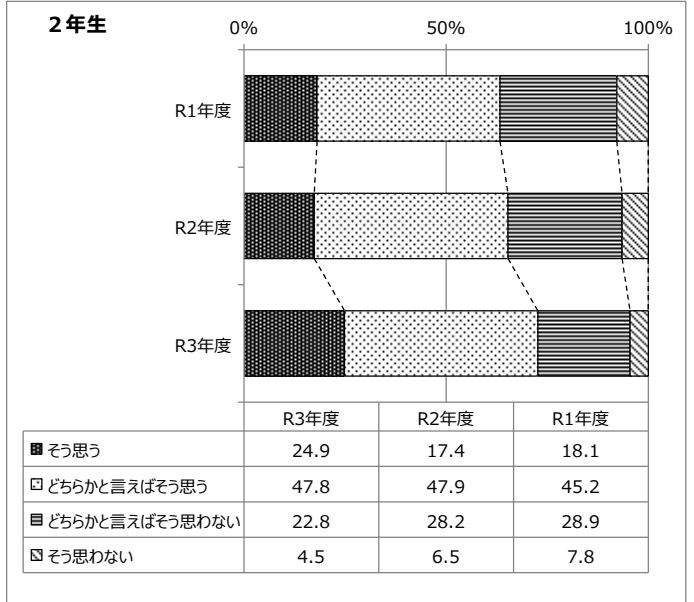
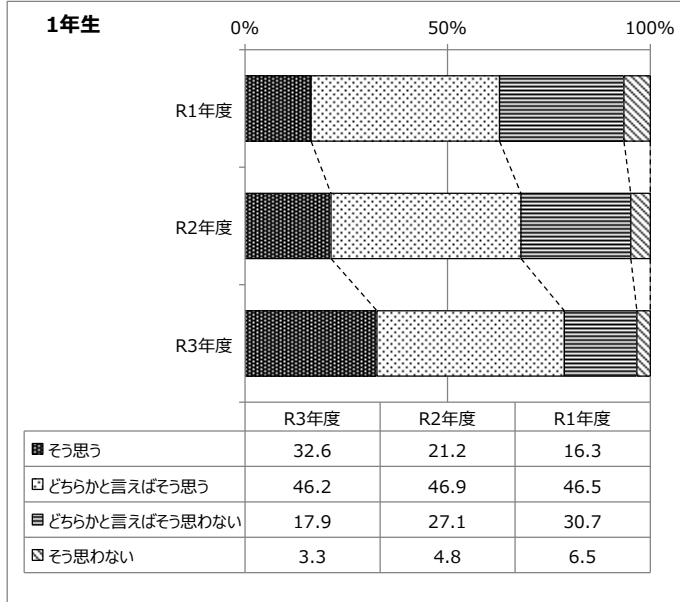
3-4 普段の授業では、生徒同士で意見交換したり、自分の考えを発表したりする活動をよく行っていると思いますか。



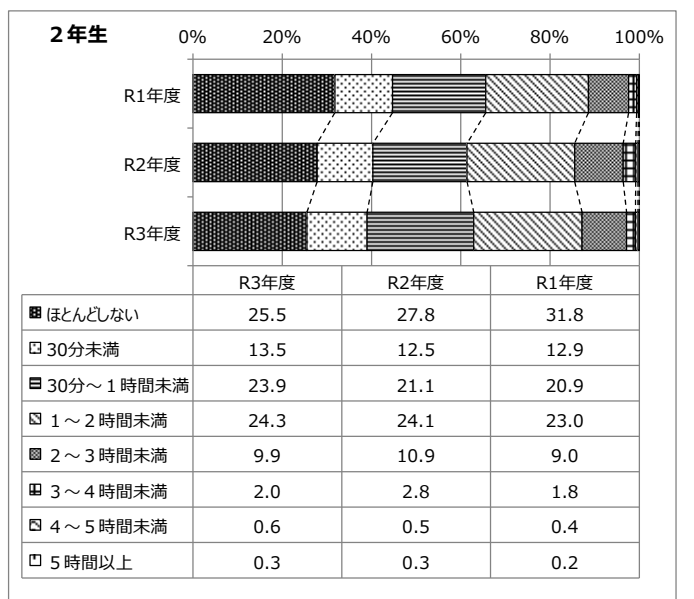
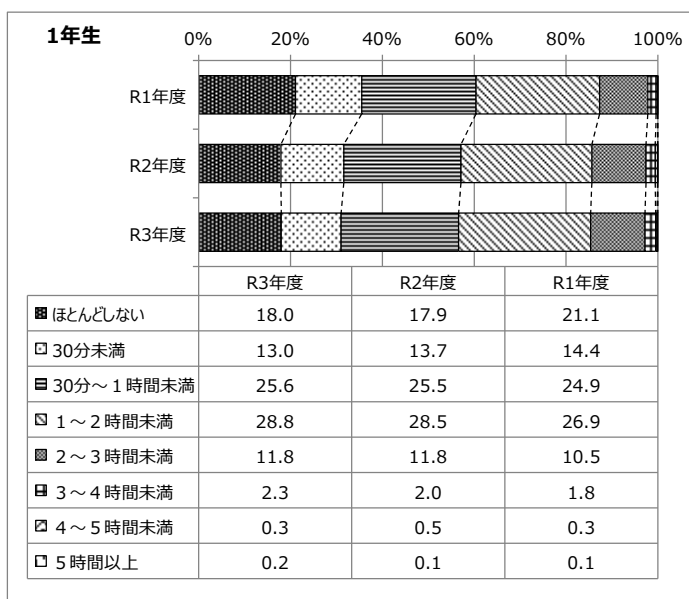
3-5 普段の授業では、ねらいや目標をしっかりと提示して授業を行っていると思いますか。



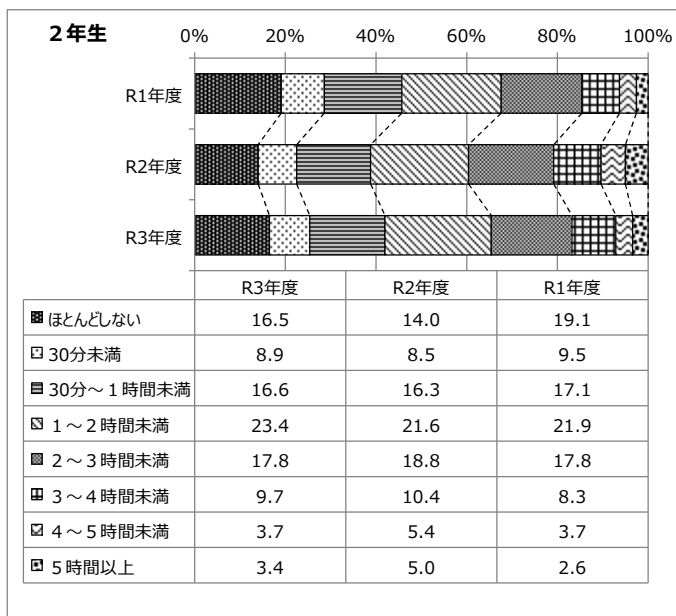
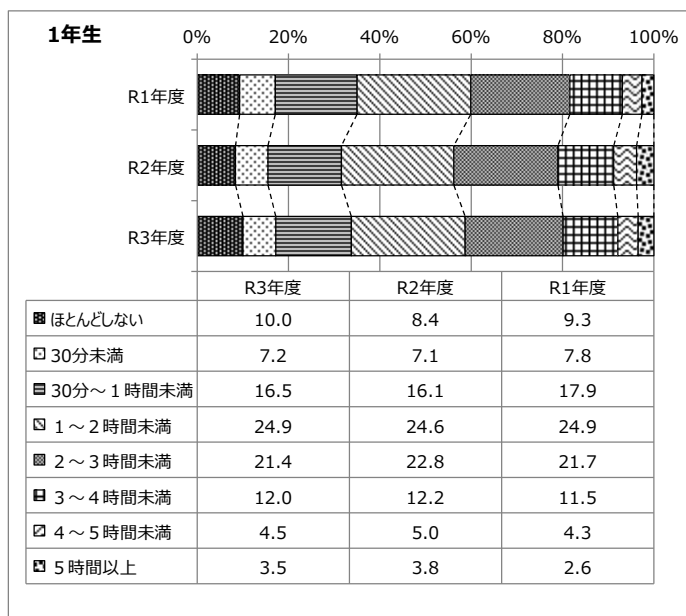
3-6 授業の中で、振り返りをする活動をよく行っていると思いますか。



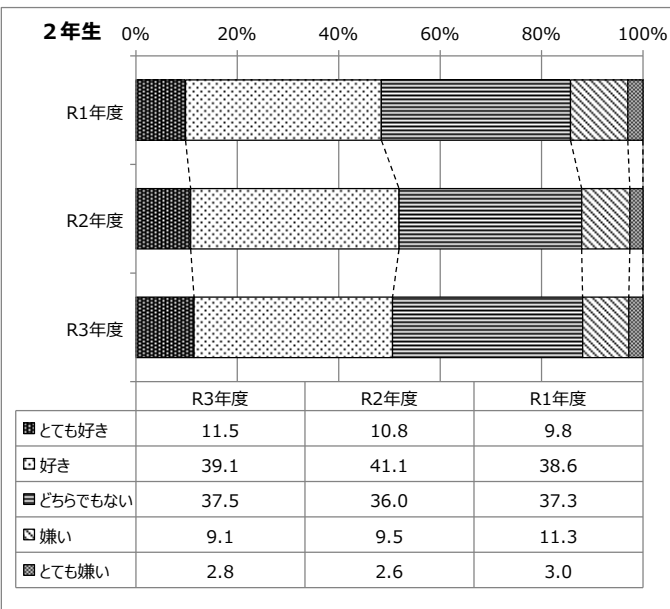
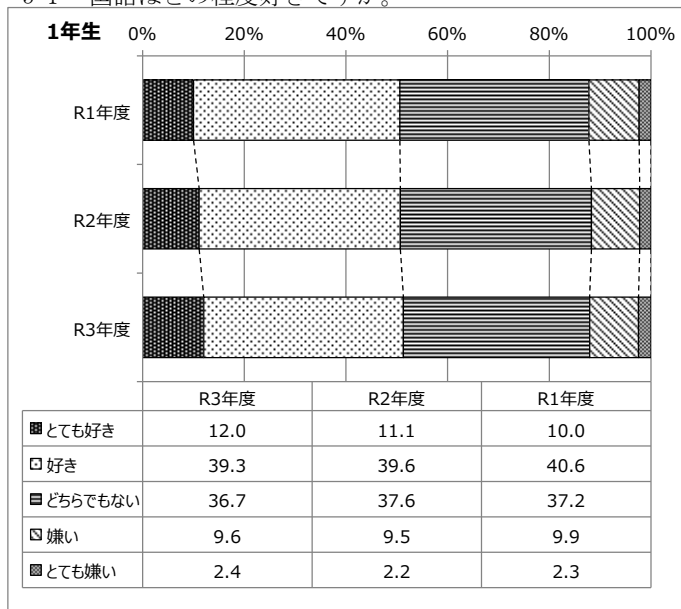
4-1 平日（テスト期間や長期休業中を除く月曜日から金曜日）に、学校の授業時間以外にどのくらい勉強していますか。（学校の補習・塾・予備校で勉強したり、家庭教師の先生に教わったりしている時間を含む）



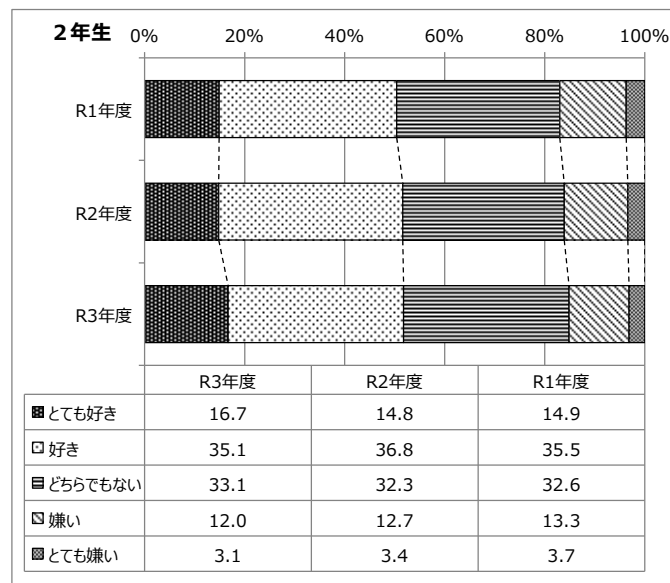
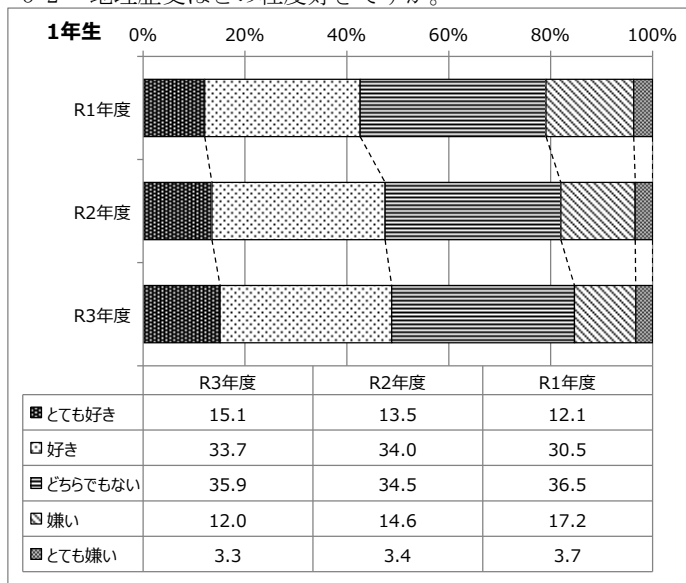
4-2 休日や長期休業中に、どのくらい勉強していますか。(学校の補習・塾・予備校で勉強したり、家庭教師の先生に教わったりしている時間を含む)



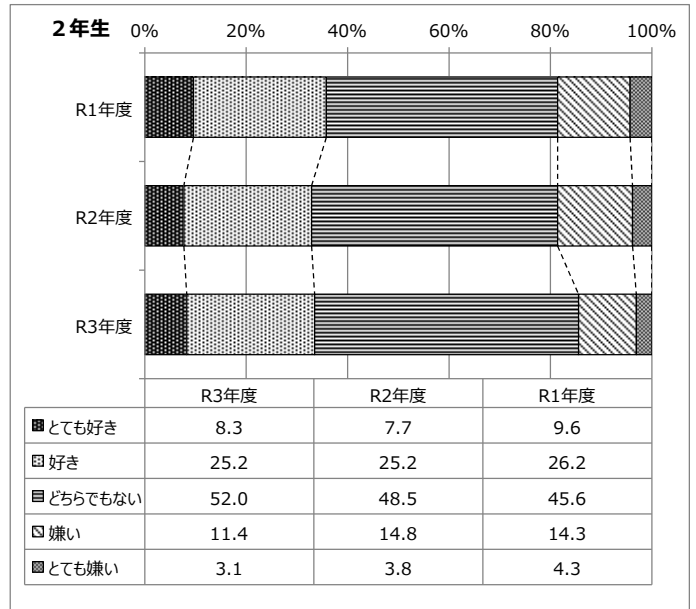
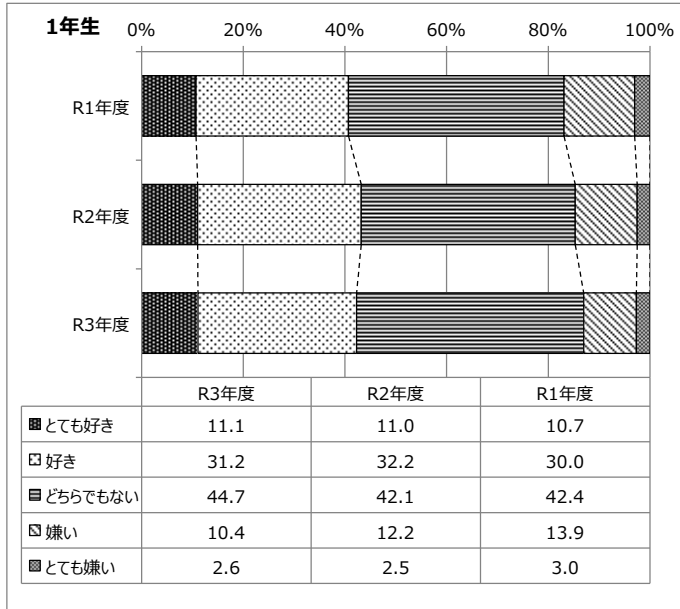
5-1 国語はどの程度好きですか。



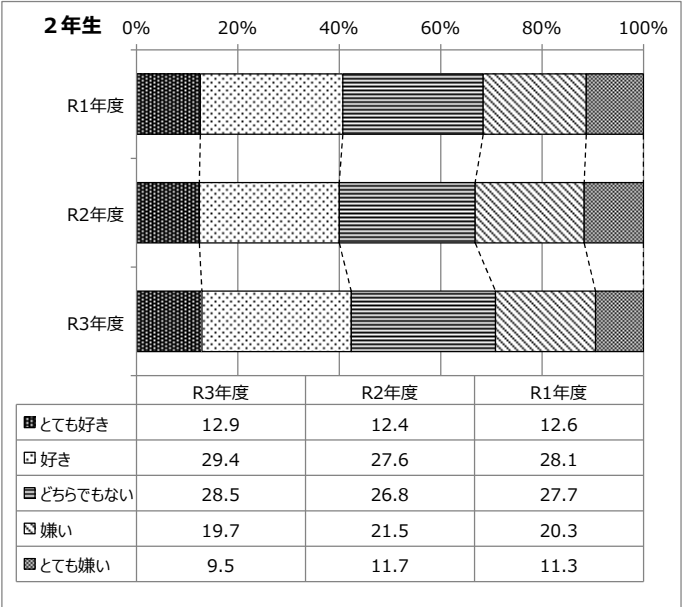
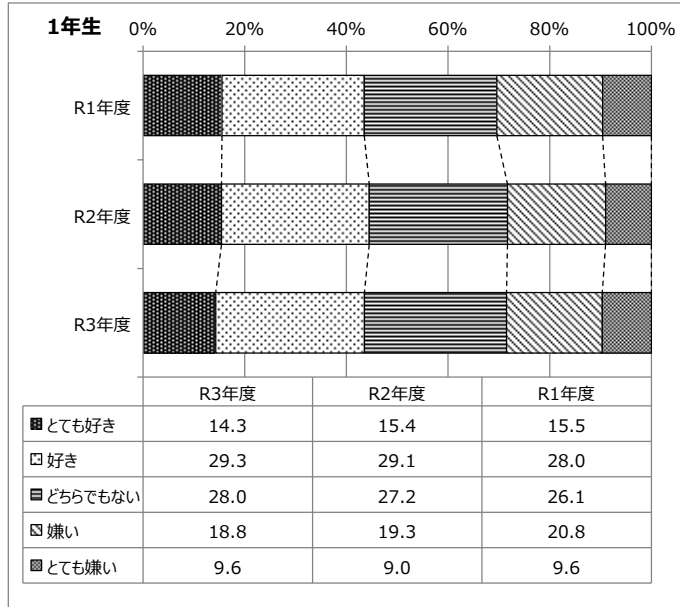
5-2 地理歴史はどの程度好きですか。



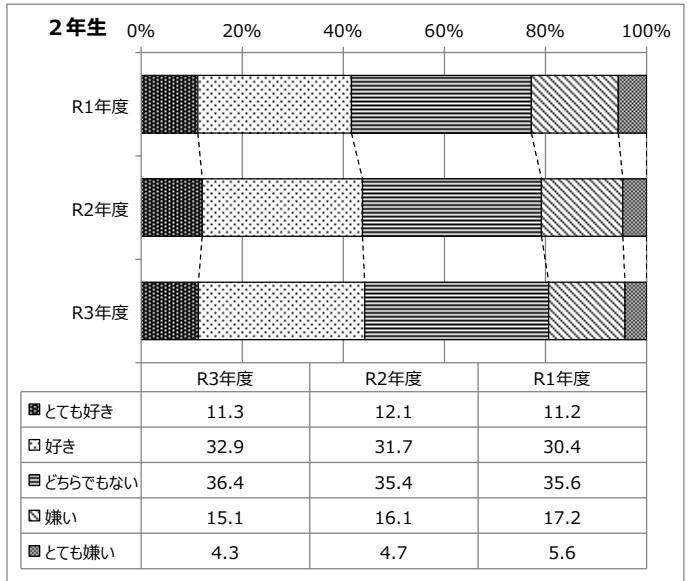
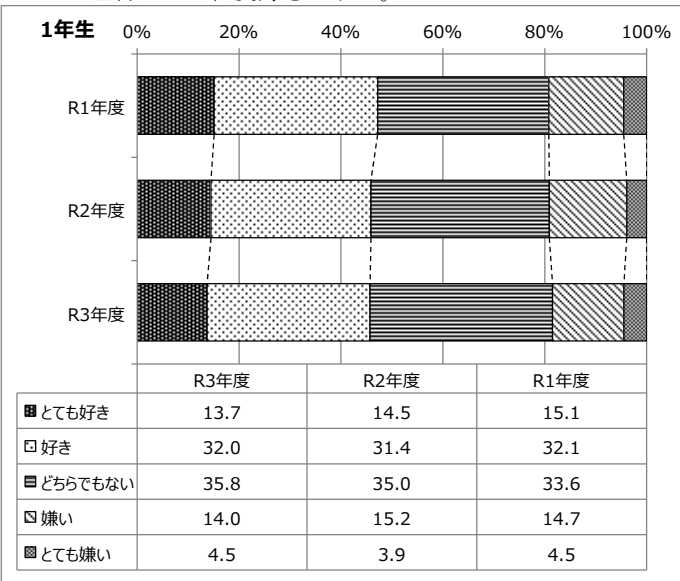
5-3 公民はどの程度好きですか。



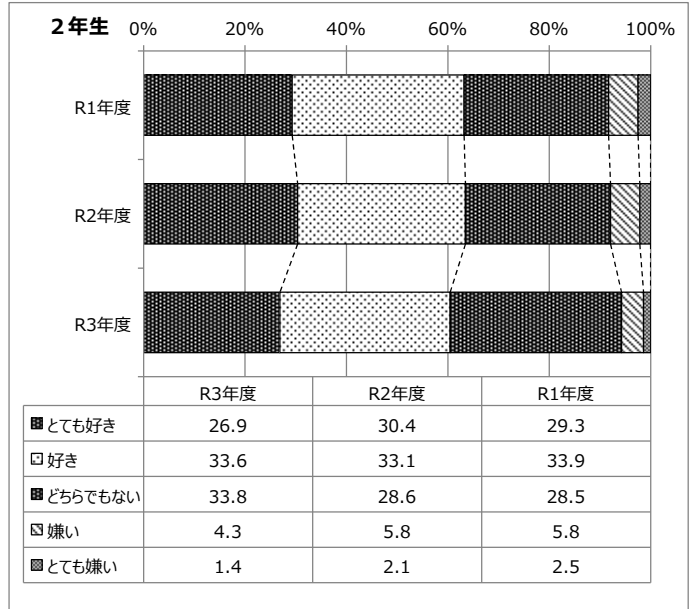
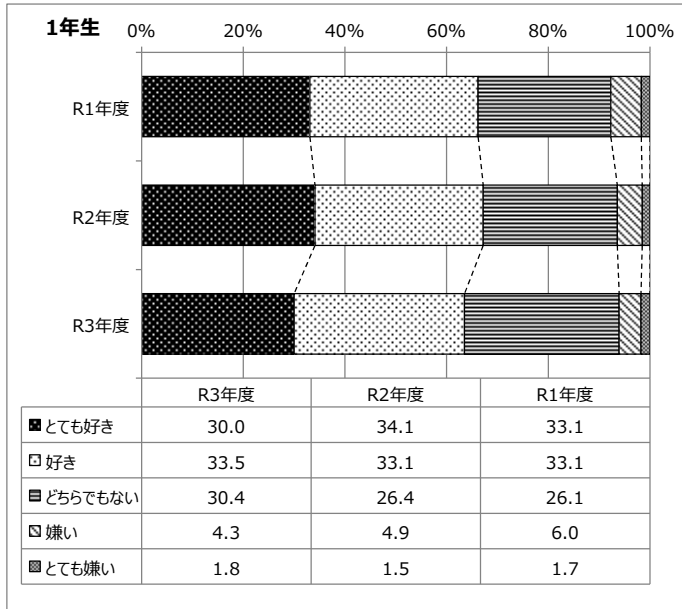
5-4 数学はどの程度好きですか。



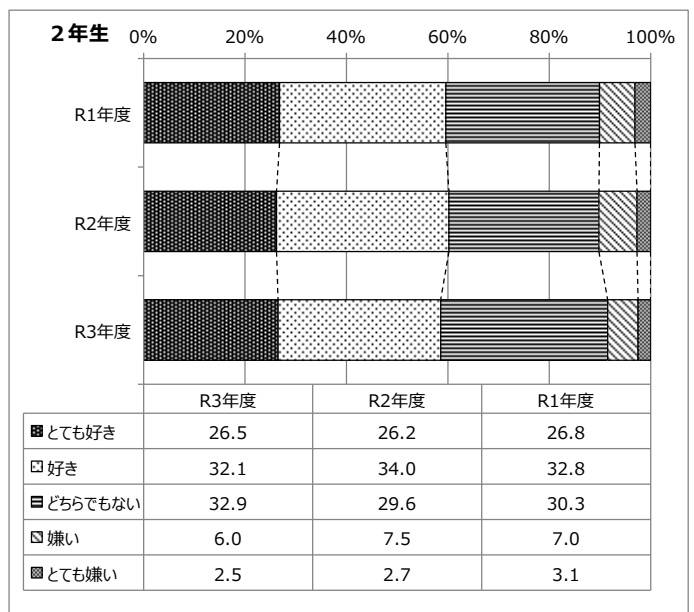
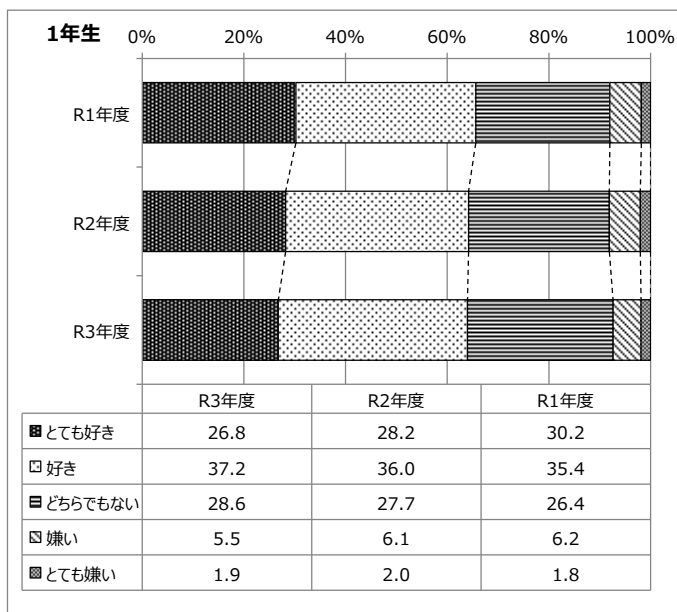
5-5 理科はどの程度好きですか。



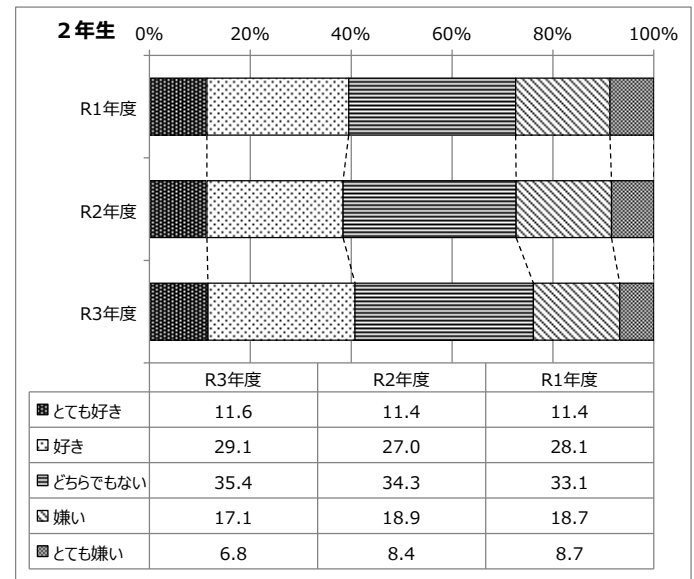
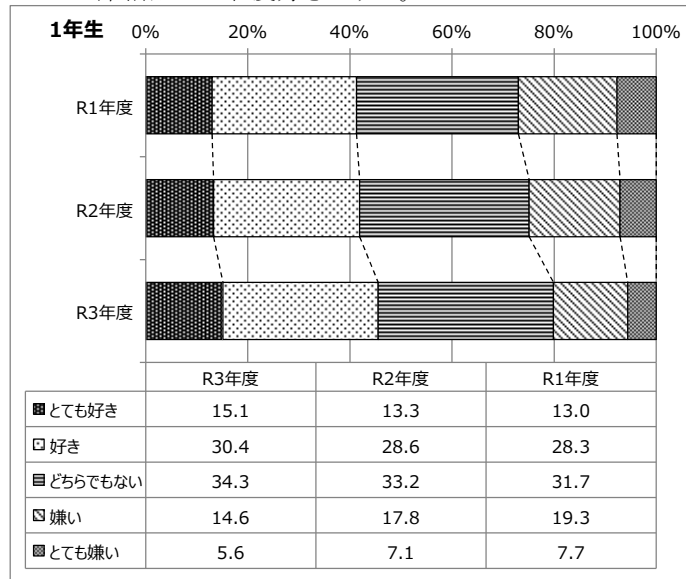
5-6 保健体育はどの程度好きですか。



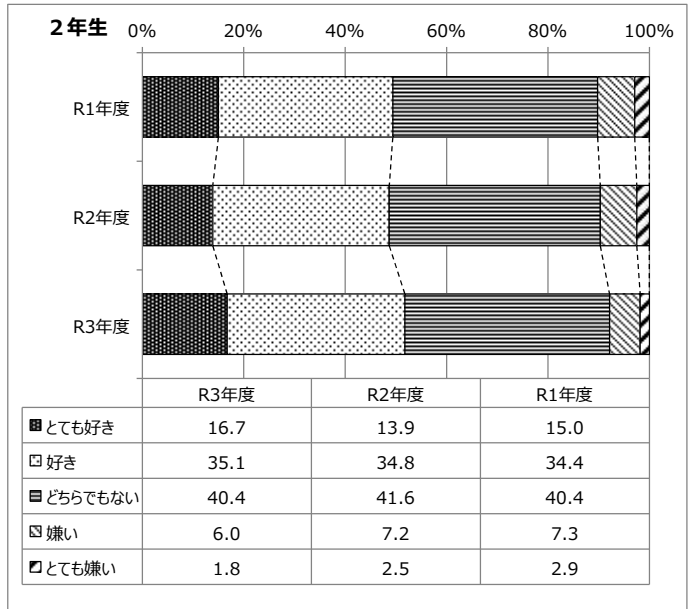
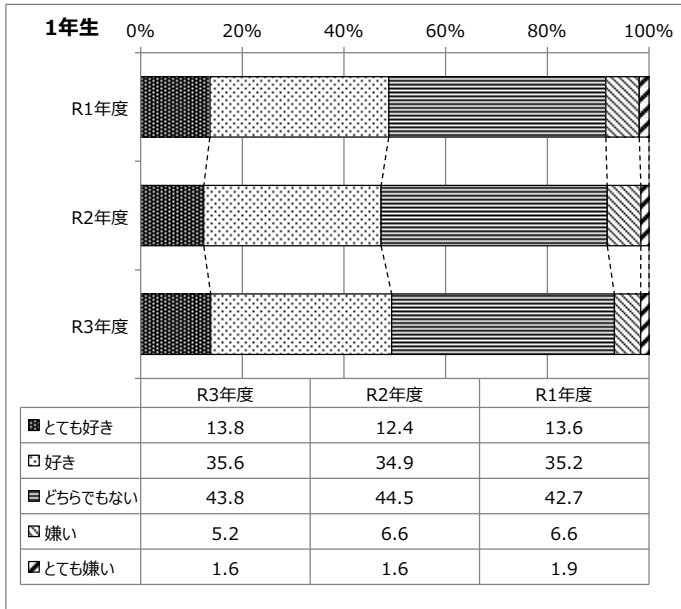
5-7 芸術はどの程度好きですか。



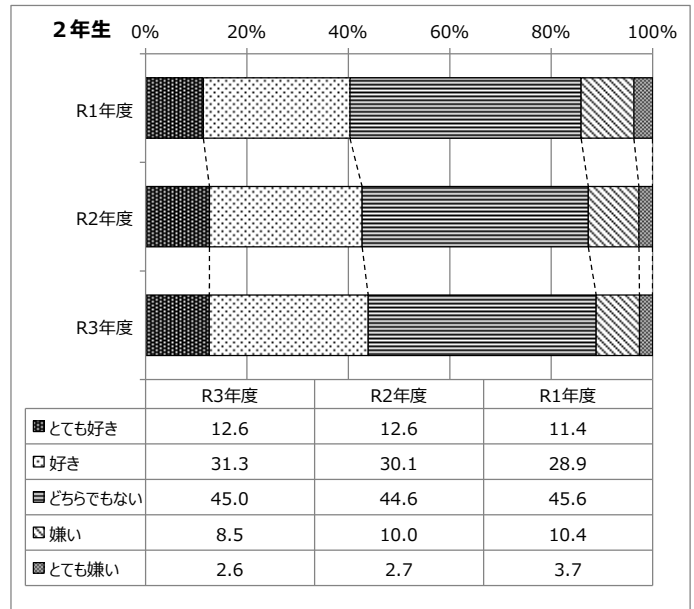
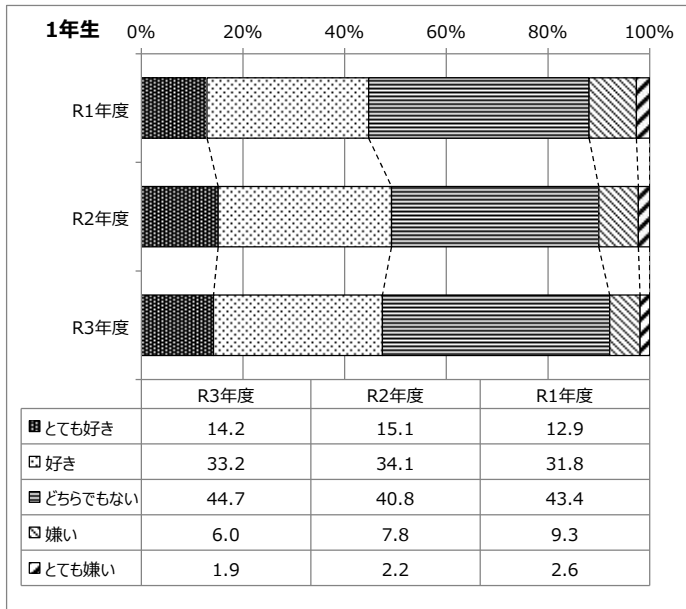
5-8 外国語はどの程度好きですか。



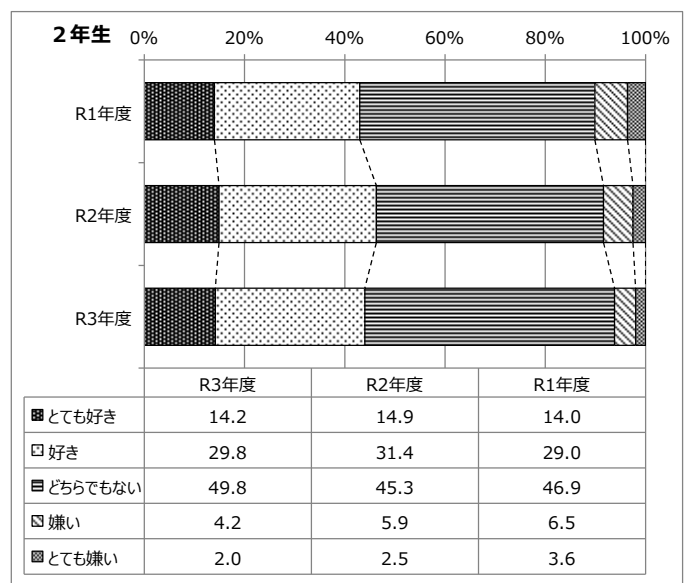
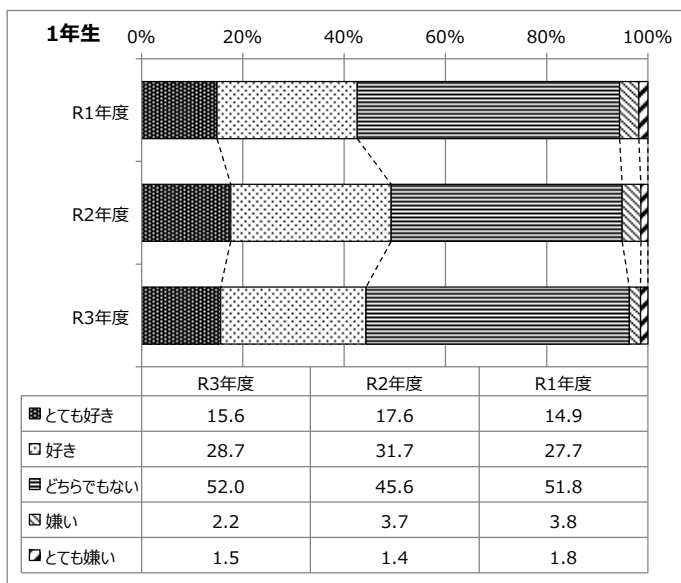
5-9 家庭はどの程度好きですか。



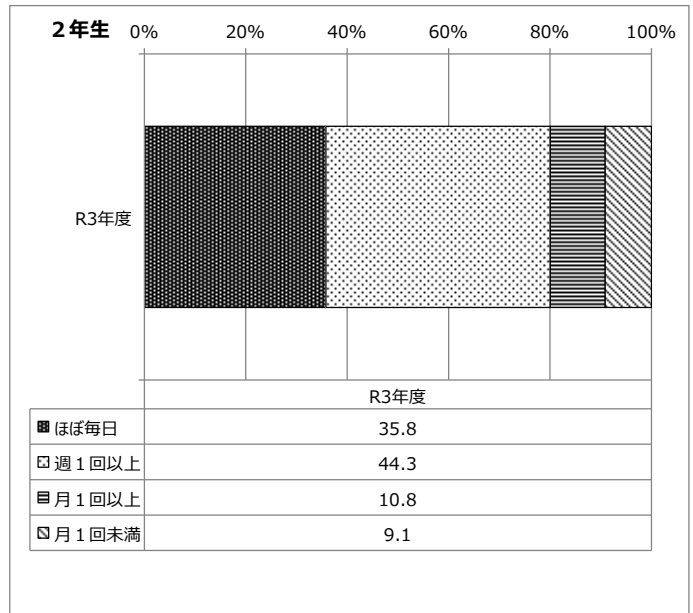
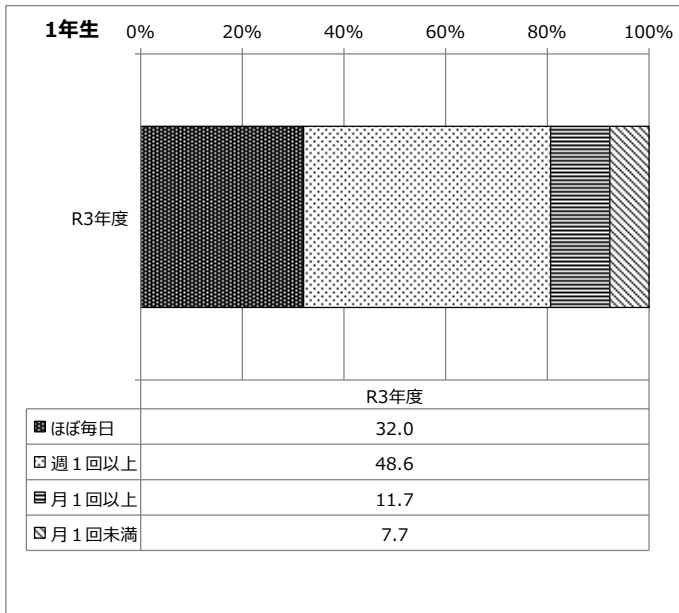
5-10 情報はどの程度好きですか。



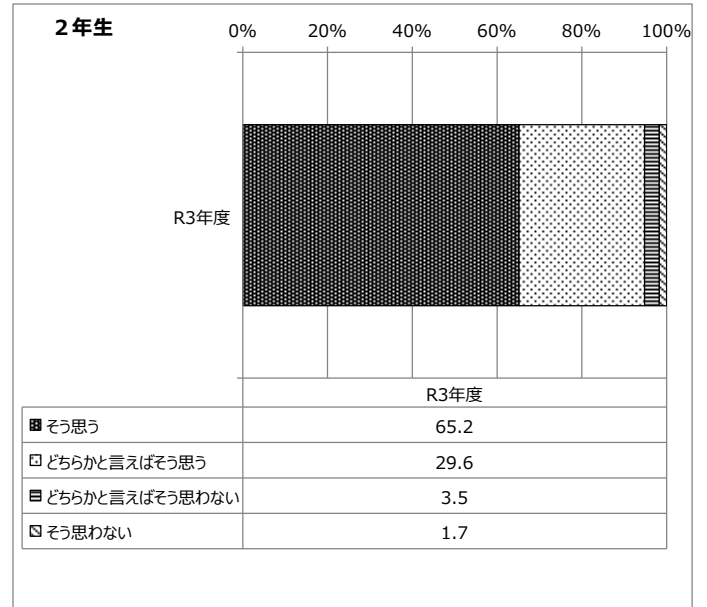
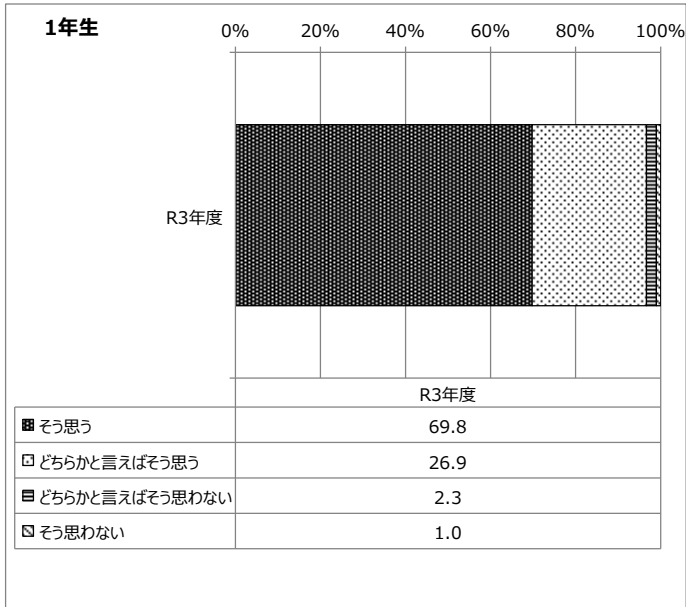
5-11 専門教科はどの程度好きですか。



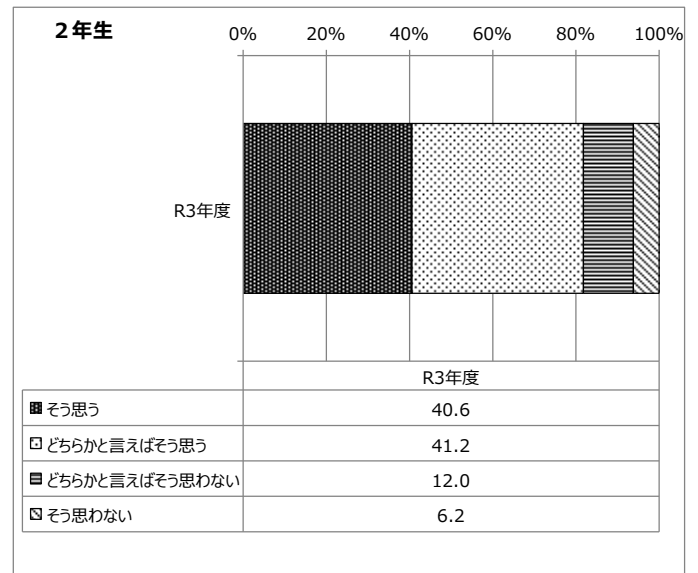
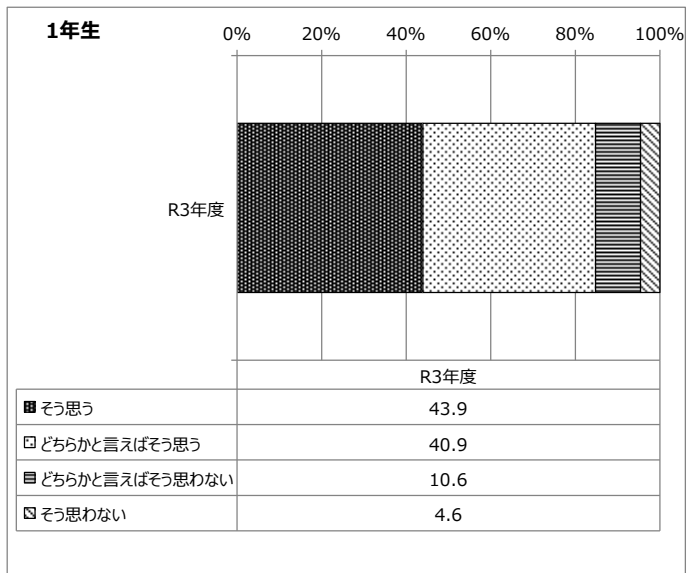
9-1 あなたは学校で、コンピュータなどのＩＣＴ機器を他の友達と意見を交換したり調べたりするために、どの程度使用していますか。（Ｒ３ 新規）



9-2 学習の中でコンピュータなどのＩＣＴ機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。（Ｒ３ 新規）



9-3 ＩＣＴの活用によって、あなたの学習意欲が高まったと思いますか。（Ｒ３ 新規）



学習状況調査について

○ 学習全般について

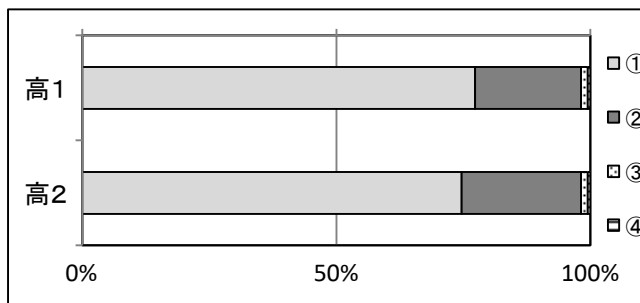
◆勉強をすることは大切だと思いますか。

- ①そう思う ②どちらかと言えばそう思う ③どちらかと言えばそう思わない
④そう思わない

	①	②	③	④
高1	77.3%	20.8%	1.4%	0.5%
高2	74.6%	23.5%	1.4%	0.5%

肯定的な回答の割合は、高1、高2ともに98.1%で高い値を示している。ほとんどの生徒は勉強することの重要性を認識している。

各学校において、生徒が意欲的に学習する動機付けを一層充実させていく必要がある。

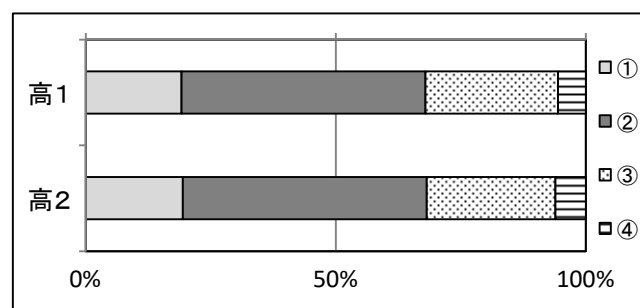


◆勉強をすることに対して興味・関心をもって意欲的に取り組んでいますか。

- ①そう思う ②どちらかと言えばそう思う ③どちらかと言えばそう思わない
④そう思わない

	①	②	③	④
高1	19.1%	48.8%	26.5%	5.6%
高2	19.4%	48.8%	25.7%	6.1%

肯定的な回答の割合は、高1で67.9%、高2で68.2%である。一人一人の能力や適性を踏まえ、個に応じた指導の更なる充実を図る必要がある。



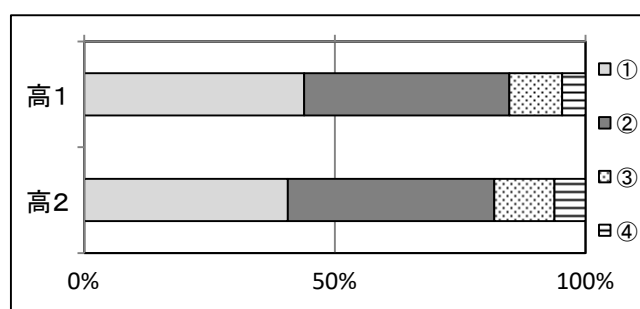
◆ICTの活用によって、あなたの学習意欲が高まったと思いますか。

- ①そう思う ②どちらかと言えばそう思う ③どちらかと言えばそう思わない
④そう思わない

	①	②	③	④
高1	43.9%	40.9%	10.6%	4.6%
高2	40.6%	41.2%	12.0%	6.2%

肯定的な回答の割合は、高1で84.8%、高2で81.8%である。

ICT機器を積極的に活用し、仲間と協働して課題の解決に取り組み、他者に自分の考えを分かりやすく表現したりする学習活動を充実させることが重要である。

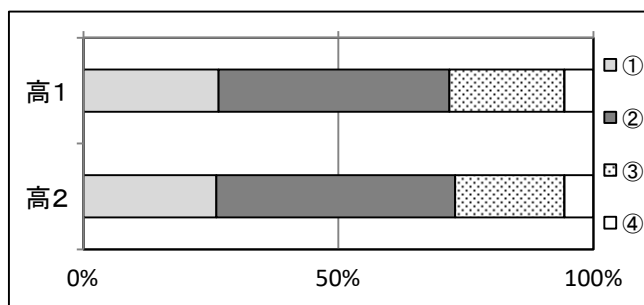


○ 授業について

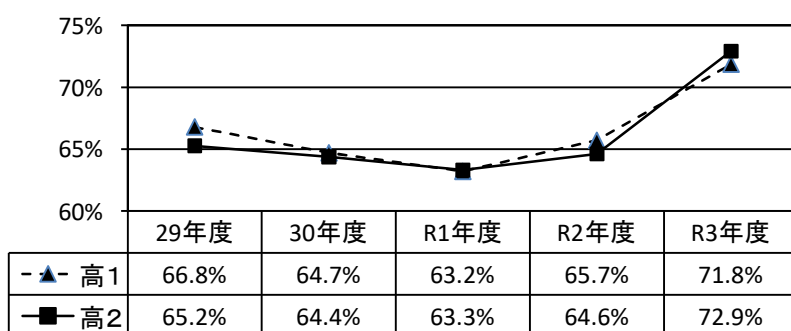
◆進学したい大学等や就きたい職業等を意識して授業に臨んでいますか。

- ①そう思う ②どちらかと言えばそう思う ③どちらかと言えばそう思わない ④そう思わない

	①	②	③	④
高1	26.5%	45.3%	22.5%	5.7%
高2	26.1%	46.8%	21.4%	5.7%



「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の割合（経年変化）



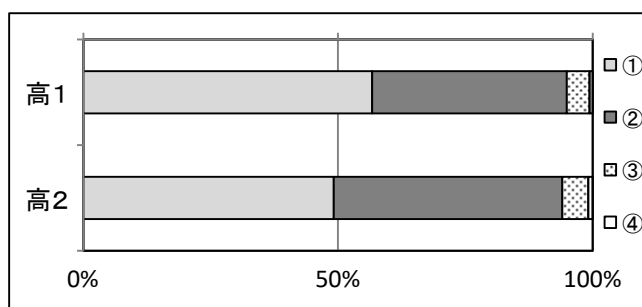
肯定的な回答の割合は各学年とも毎年65%前後で推移していたが、今年度は、70%を超え今までと比べ大きく飛躍した。

組織的・体系的なキャリア教育による大きな成果であり、今後も、教育活動全体を通じたキャリア教育をより一層充実させることが重要である。

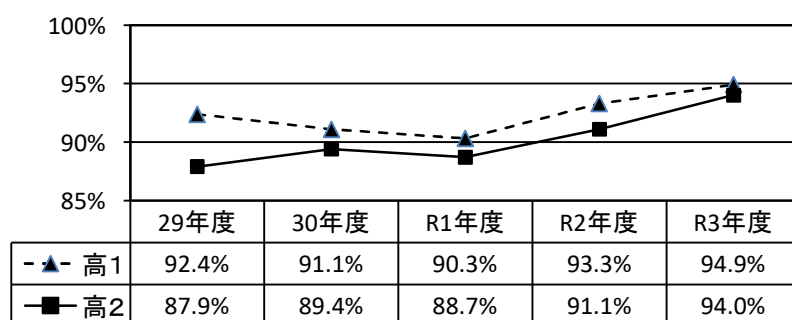
◆普段の授業では、学習のねらいや目標をしっかりと提示して授業を行っていると思いますか。

- ①そう思う ②どちらかと言えばそう思う ③どちらかと言えばそう思わない ④そう思わない

	①	②	③	④
高1	56.7%	38.2%	4.5%	0.6%
高2	49.1%	44.9%	5.1%	0.9%



「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の割合（経年変化）



肯定的な回答の割合は高1で94.9%、高2で94.0%と各学年とも非常に高い値となった。

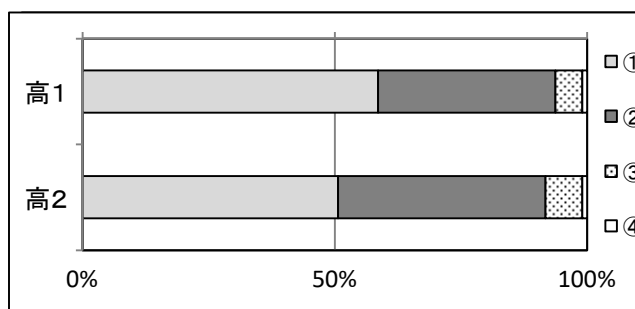
授業における学習のねらいや目標の提示がしっかりと定着してきていることを示している。

I C T機器を効果的に活用することで、生徒が見通しをもって学習に臨むことができるようになってきている。

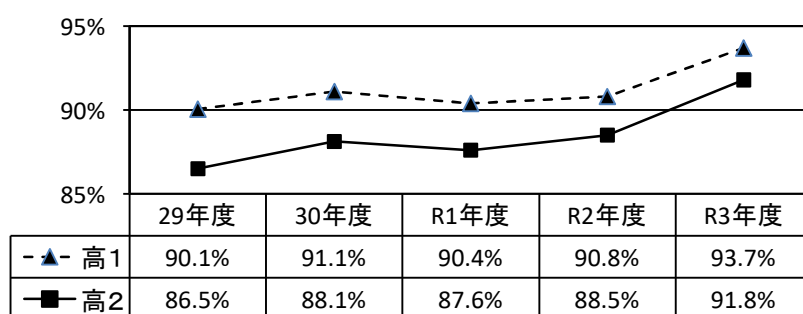
◆普段の授業では、生徒同士で意見交換したり、自分の考えを発表したりする活動をよく行っていると思いますか。

- ①そう思う ②どちらかと言えばそう思う ③どちらかと言えばそう思わない
④そう思わない

	①	②	③	④
高1	58.6%	35.1%	5.4%	0.9%
高2	50.7%	41.1%	7.3%	0.9%



「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の割合(経年変化)



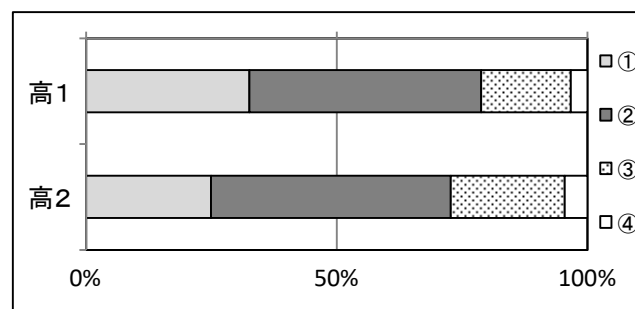
肯定的な回答の割合は高1で93.7%、高2で91.8%と各学年とも90%を超えており、昨年に比べ大きく上昇した。

I C T機器の効果的な活用により、思考したことを言語化したり、図表化したりして「見える化」を行うなど、他者の考え方を共有するための工夫が図られている。

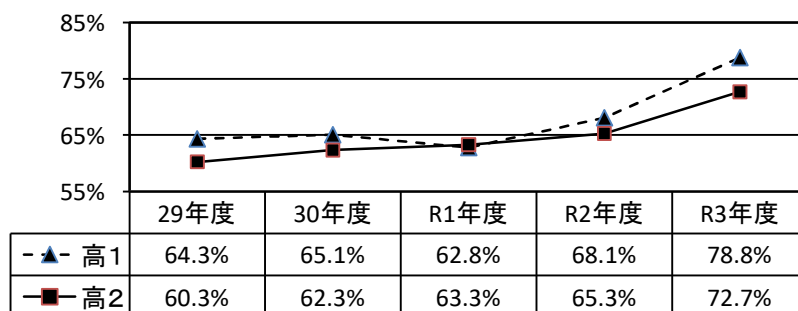
◆普段の授業で、振り返り活動をよく行っていると思いますか。

- ①そう思う ②どちらかと言えばそう思う ③どちらかと言えばそう思わない
④そう思わない

	①	②	③	④
高1	32.6%	46.2%	17.9%	3.3%
高2	24.9%	47.8%	22.8%	4.5%



「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の割合(経年変化)



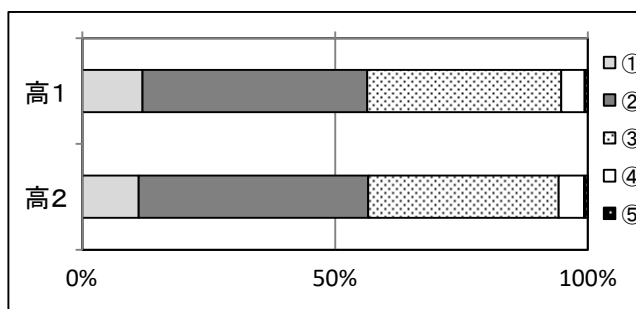
肯定的な回答の割合は高1で78.8%、高2で72.7%と各学年とも70%を超え、昨年度に比べて大きく上昇した。

I C T機器を活用し、単元や授業ごとに身に付ける資質・能力を教師と生徒が共有し、生徒が学習の見通しをもつことができるよう、工夫が図られている。

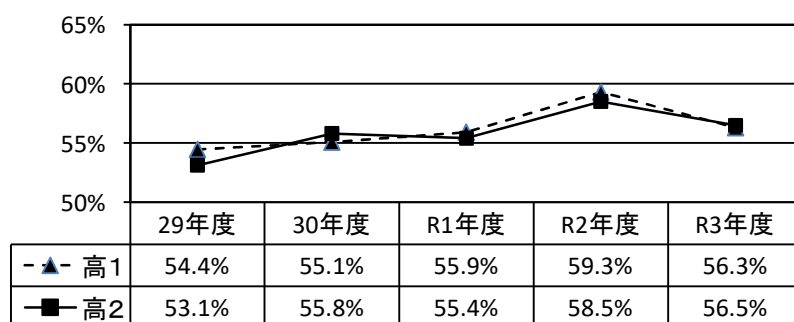
◆学校の授業内容をどの程度理解していますか。

- ①ほとんどの授業が理解できる ②理解できる授業の方が多い
③理解できる授業と理解できない授業が半々くらいである
④理解できない授業の方が多い ⑤ほとんど理解できない

	①	②	③	④	⑤
高1	11.9%	44.4%	38.4%	4.6%	0.7%
高2	11.2%	45.3%	37.7%	5.0%	0.8%



「ほとんど理解できる」「理解できる授業の方が多い」の割合(経年変化)



「ほとんど理解できる」「理解できるの方が多い」の割合は、各学年とも例年と大きく変わらない。

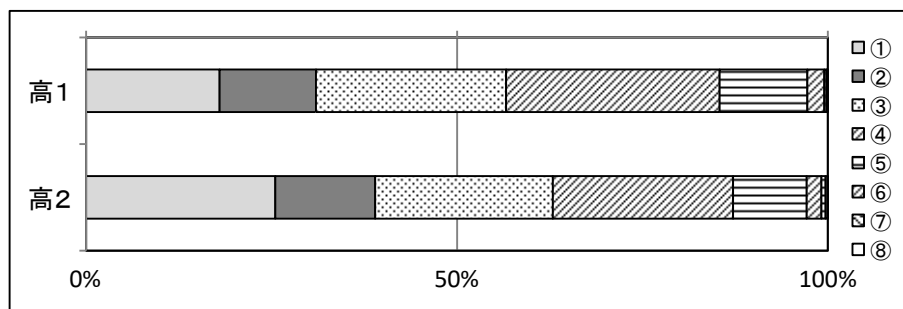
組織的・継続的な授業改善を通して、生徒の理解度を高めるとともに、生徒が自ら課題を解決するために必要な力を育むことが求められる。

○ 家庭学習について

◆平日に、学校の授業時間以外にどのくらい勉強していますか。

- ①ほとんどしない ②30分未満 ③30分～1時間未満 ④1～2時間未満
⑤2～3時間未満 ⑥3～4時間未満 ⑦4～5時間未満 ⑧5時間以上

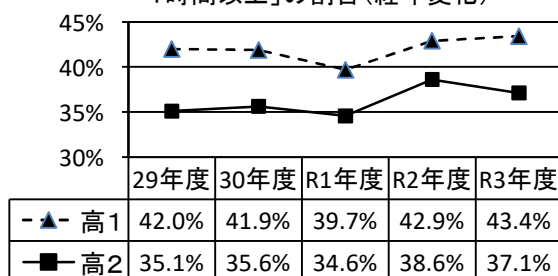
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
高1	18.0%	13.0%	25.6%	28.8%	11.8%	2.3%	0.3%	0.2%
高2	25.5%	13.5%	23.9%	24.3%	9.9%	2.0%	0.6%	0.3%



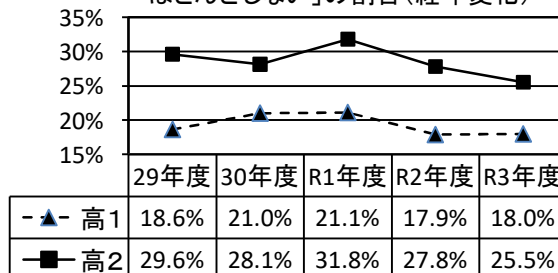
平日の学習時間が「1時間以上」の割合は、高1で43.4%、高2で37.1%と昨年度に比べ大きく変わっていない。

「ほとんどしない」の割合は高1で18.0%、高2で25.5%であり、授業の中で、家庭学習等につなげるための手立てを工夫する必要がある。

「1時間以上」の割合(経年変化)



「ほとんどしない」の割合(経年変化)



令和4年

第3回 教育委員会会議

報告事項

- (2) 令和4年3月高等学校卒業予定者の就職内定状況について
- (3) 令和5年度秋田県立特別支援学校入学者選考に係る日程等について

秋田県教育委員会

令和4年3月卒業予定者の就職内定状況について(公務員を除く)

令和4年2月28日現在

高 校 教 育 課

(公立全日制)

- 1 卒業予定者数 6,287 人
- 2 就職内定状況 (公務員を除く)

地 区		卒業者数	就職 希望者数	就職 内定者数	就職 内定率	県内就職			県外就職			未内定者
						希望者数	内定者数	内定率	希望者数	内定者数	内定率	
県 北	今年度	1,510	425	422	99.3%	311	309	99.4%	114	113	99.1%	3
	前年度	1,592	427	426	99.8%	299	298	99.7%	128	128	100.0%	1
中 央	今年度	2,858	626	625	99.8%	509	508	99.8%	117	117	100.0%	1
	前年度	2,931	680	678	99.7%	529	527	99.6%	151	151	100.0%	2
県 南	今年度	1,919	470	468	99.6%	364	364	100.0%	106	104	98.1%	2
	前年度	1,998	497	495	99.6%	341	339	99.4%	156	156	100.0%	2
県全体	今年度	6,287	1,521	1,515	99.6%	1,184	1,181	99.7%	337	334	99.1%	6
	前年度	6,521	1,604	1,599	99.7%	1,169	1,164	99.6%	435	435	100.0%	5
	増減	-234	-83	-84	-0.1	15	17	+0.1	-98	-101	-0.9	+1

- ① 公立全日制就職内定率

99.6%

(前年同期比

-0.1 ポイント)
- 県内就職内定率

99.7%

(前年同期比

+0.1 ポイント)
- 県外就職内定率

99.1%

(前年同期比

-0.9 ポイント)
- ② 地区別内定率等

県内就職内定率は、県北地区は前年同期比 -0.3ポイント 中央地区は +0.2ポイント 県南地区 +0.6ポイント

県外就職内定率は、県北地区は前年同期比 -0.9ポイント 中央地区は ±0.0ポイント 県南地区 -1.9ポイント
- ③ 就職希望者数は、

1,521人であり、前年同期比で

-83人

就職内定者数は、

1,515人であり、前年同期比で

-84人

(公立全日制＋公立定時制＋私立高校)

		卒業者数	就職 希望者数	就職 内定者数	就職 内定率	県内就職			県外就職			未内定者
						希望者数	内定者数	内定率	希望者数	内定者数	内定率	
全日制		6,287	1,521	1,515	99.6%	1,184	1,181	99.7%	337	334	99.1%	6
定時制		133	57	51	89.5%	54	49	90.7%	3	2	66.7%	6
私 立		655	100	93	93.0%	88	81	92.0%	12	12	100.0%	7
全県総計	今年度	7,075	1,678	1,659	98.9%	1,326	1,311	98.9%	352	348	98.9%	19
	前年度	7,399	1,785	1,770	99.2%	1,331	1,318	99.0%	454	452	99.6%	15
	増減	-324	-107	-111	-0.3	-5	-7	-0.1	-102	-104	-0.7	+4

令和4年3月卒業予定者の就職内定状況について(公務員を含む)

令和4年2月28日現在

高 校 教 育 課

①公立高校全日制

	希望者	内定者	内定率	未内定者	未内定者前年度比
県内民間	1,184	1,181	99.7%	3	-2
県外民間	337	334	99.1%	3	+3
小計	1,521	1,515	99.6%	6	+1
県内公務員	132	128	97.0%	4	-4
県外公務員	123	122	99.2%	1	-1
小計	255	250	98.0%	5	-5
合計	1,776	1,765	99.4%	11	-4

(前年同期比 +0.2ポイント)

②公立高校定時制

	希望者	内定者	内定率	未内定者	未内定者前年度比
県内民間	54	49	90.7%	5	-2
県外民間	3	2	66.7%	1	-1
小計	57	51	89.5%	6	-3
県内公務員	3	3	100.0%	0	0
県外公務員	0	0	—	0	0
小計	3	3	100.0%	0	0
合計	60	54	90.0%	6	-3

(前年同期比 +3.0ポイント)

③私立高校

	希望者	内定者	内定率	未内定者	未内定者前年度比
県内民間	88	81	92.0%	7	+6
県外民間	12	12	100.0%	0	0
小計	100	93	93.0%	7	+6
県内公務員	12	12	100.0%	0	0
県外公務員	6	6	100.0%	0	0
小計	18	18	100.0%	0	0
合計	118	111	94.1%	7	+6

(前年同期比 -5.1ポイント)

①+②+③県全体

	希望者	内定者	内定率	未内定者	未内定者前年度比
県内民間	1,326	1,311	98.9%	15	+2
県外民間	352	348	98.9%	4	+2
小計	1,678	1,659	98.9%	19	+4
県内公務員	147	143	97.3%	4	-4
県外公務員	129	128	99.2%	1	-1
小計	276	271	98.2%	5	-5
合計	1,954	1,930	98.8%	24	-1

(前年同期比 0.0ポイント)

県内就職希望割合 75.4% 1,473 / 1,954 人 (前年同期比 +2.7ポイント)

内訳	男	73.4%	894 / 1,218 人
	女	78.7%	579 / 736 人

県内就職の割合 75.3% 1,454 / 1,930 人 (前年同期比 +2.8ポイント)

内訳	男	73.3%	883 / 1,204 人
	女	78.7%	571 / 726 人

令和5年度秋田県立特別支援学校入学者選考に係る日程等について

特別支援教育課

1 入学者選考の期日

○ 視覚支援学校・聴覚支援学校幼稚部、特別支援学校高等部及び高等部専攻科

選 考 日 令和5年3月 2日（木）

合格発表日 令和5年3月13日（月）

○ 栗田支援学校高等部総合サービス科

選 考 日 令和5年2月 2日（木）

合格発表日 令和5年2月10日（金）

2 選考方法

教育相談での観察及び在籍（出身）学校からの調査書に基づく面接を基本とし、各学校の実情に応じて学力検査、作業能力検査等を行う。

3 その他

入学者選考に関する募集人員その他必要な事項は、令和4年9月中旬に公告する予定である。